

# 「火力・原子力発電所におけるAI・IoTの取組み事例と 将来展望」を開催いたしました！！

2018年11月8日、港区の機械振興会館において、各社のAI・IoTの取組みと展望についてご紹介いただく講演会を開催いたしました。今回の講演会は、会員の皆さまの関心が非常に高く、申込受付開始後まもなく定員に達したため、急遽定員枠を拡大し、180名を超える多くの皆さまにご聴講いただきました。各講演後には、質疑応答が活発に行われるなど、参加者の皆様は熱心に聴講されていました。



【講演1】

東京電力フュエル&  
パワー(株)  
亀井 宏映 氏



【講演2】

東芝エネルギー  
システムズ(株)  
青山 敬三 氏



【講演3】

GEパワー  
新井 信行 氏

牟田 泰孝 氏



【講演4】

三菱日立パワー  
システムズ(株)  
遠藤 彰久 氏



【講演5】

シーメンス(株)  
澤内 真人 氏

## ～プログラム～

【講演1】『O&Mビジネス改革 火力発電所のデジタル化と新展開』

東京電力フュエル&パワー(株) 亀井 氏

【講演2】『IoT活用による発電所の運用性改善事例について』

東芝エネルギーシステムズ(株) 青山 氏

【講演3】『予兆検知システムとデータおよび分析駆動形「戦略的メンテナンス」』

GEパワー 新井 氏、牟田 氏

【講演4】『ITとOTの融合による発電所の智能化』

三菱日立パワーシステムズ(株) 遠藤 氏

【講演5】『シーメンスが取組むデジタルライゼーションのご紹介』

シーメンス(株) 澤内 氏

## < 参加者の声 >

- ◆ 各社の取組み状況、考え方、内容を一度に聴くことができ、大変有意義だった。
- ◆ 日々の業務では得られない新しい知見を得るとともに、参加者の質問の中から、発電業者が何を求めているかを垣間見ることができ有意義であった。
- ◆ 他社の先進的なシステムや実例を学ぶことができ、大変刺激のあるものだった。この内容を今後の自分の業務に活かしていきたいと思った。
- ◆ 取組みの具体が見えたことに、収穫があった。

～その他、多くの貴重なご感想・ご意見をいただきました。ありがとうございました。～